



ブラジリアの風



受洗した15歳湧希↑

バプテスマのよろこび

2021年も3分の2が過ぎますが、皆様の変わらないご支援とご祈祷に支えられていることを心から感謝申し上げます。

7月末から実施されていた東京オリンピックの様子をブラジルで見ながら、選手たちの活躍に一喜一憂する一方、パンデミックゆえの複雑な状況に心を痛めています。どれほど多くの方が生活や命の危機にさらされ、試練の中にあられることでしょうか。度重なる自然災害にも直面している日本の皆様のために祈らされています。

ブラジルにおいても未だマスクの手放せない日々ですが、ワクチン接種も進み、明るい兆しが少しずつ見え始めています。教会の礼拝や日本語学校の授業はオンラインのままですが、その中でも7名の兄弟姉妹が信仰告白し洗礼の恵みにあずかりました。15歳の次男湧希もその一人、自らの自己中心の罪と葛藤しながらも主イエスを救い主と信じ従っていく決心をポルトガル語で語りました。

今回は家族限定参加の異例の洗礼式でしたが、7名の兄弟姉妹の誠実な信仰告白を伺いながら、確かな主の導きと御手を覚え、主の御名を崇めました。



7月10日の受洗直後の次男湧希（右から三番目）

このパンデミックの間に、私たち家族も色々な試練や課題に直面しています。怪我や病いとの戦い、子どもの教育・療育の課題、経済の危機など...試みは次から次へとやってきます。意気消沈するようなこともあります。天を仰ぎ見、必要な助けを待ち望みながら歩んでいます。

パウロとシラスが真夜中の牢獄の中で「祈りつつ神を賛美していた」（使徒16章）とき、大地震が起き、それをきっかけに看守の家族が救われました。私たちも状況に左右されず、主に心を注ぎだし、主の恵みの内に生きることができるよう。日本の皆様の祝福をお祈りいたします。浜田献、陽子

(受洗者：左から) シルビア、エリザ、湧希、ガブリエル
ペドロ信二、タシアノ、フランシスコ

感謝の報告と祈りのお願い

- ・7名の兄弟姉妹の受洗感謝と今後の信仰生活の祝福。
- ・パンデミックの収束と宣教の前進、教会の守りのため。
- ・松下ハウ兄弟のご両親の病の癒しと生活のため。
- ・わが家の健康と経済の必要が満たされるように。

「浜田宣教師指定」献金者一覧（2021年6-7月）

磐田キリスト教会、松戸福音教会、愛のキリスト教会、庄司宏道、知立キリスト教会、矢作キリスト教会、名古屋めぐみ教会、久留米聖書教会、豊田神池キリスト教会、くずは聖書教会、近藤愛哉、新津福音キリスト教会、蛭池聖書教会、千種キリスト教会、いこいのある教会、加藤裕一郎・真琴、石神井福音教会、碧南聖書教会、波崎キリスト教会、白山めぐみキリスト教会、総和キリスト教会、青島恒宣、追浜聖書教会、豊川中央キリスト教会、学園前聖書教会、新鎌ヶ谷聖書教会、光の森聖書教会、新船橋キリスト教会、安城中央キリスト教会、相馬キリスト福音教会、グレイスハウス教会、但見亮、原町キリスト福音教会、松原聖書教会、浜松中沢教会、匿名2名（敬称略）

(6-7月合計) 523,035 円

累計 1,887,853 円

(2021年目標額:170万円)

皆さまの尊いおささげものを心から感謝申し上げます。